ソウル大学路でミュージカル「キムジョンウク探し」を観てきました

『むくげ通信』３２２号 2024.1.28 より　**飛田雄一**

昨年11月7日～10日、ソウルに行ってきた。8日、9日に日韓和解と平和プラットフォームの合同運営委員会が開かれたのだ。その 2 日間だけではもったいないと前後２泊を追加した。

その少し前、朝日新聞に「韓国ミュージカル熱気」という記事がのった。この際ソウルで何かミュージカルを観たいと思った。どれを観たらいいのか、どう予約したらいいのか、でも観たい。そこで韓国留学中の韓光勲さんにお願いした。

彼が探してくれたのが「キムジョンウク探し」。ネットで２名分を予約してくれた。大学路にある劇場。大学路には劇場がたくさんあるらしい。これは、一日三回の公演。午後２時、5 時、８時。7 日は、私はソウル初日なので 8 時からをお願いした。ゆっくり夕食をしてからその劇場に向かった。

ネットの広告。飛田記念写真。

小劇場といっても 200 席ぐらい。その日は、5－60 名のお客さんが入っていた。出演者は３名。みんなじょうずだ。

ネットのコメントにこんなことが書かれている。「お母さんがずっと笑って終わるお芝居で、役者さんも女優さんも素晴らしく、休む暇もない良いお芝居でした」

「大学の課題で初めてミュージカルを観たのですが、とても楽しかったです! 思ったより楽しくて、100 分経ったことすら知りませんでした! あなたの友人や恋人と一緒にそれを見るのもいいでしょう! 役者さんたちがとてもかわいくてイケメンで、私もたくさんの目を向けました! 次回もお会いできるといいですね(???)（ネット翻訳なので日本語があやしい)」

8(水)　朝日新聞　2023.11/1.

韓国ミュージカル 熱気

軍主催作品に兵役アイドル ファン流入きっかけに

東宝でも上演／日本企業も参入

K-POPの次はKミュージカルへ――。韓国のミュージカル人気が熱気を帯びている。人気を支えるのは、役者の旅帰りとオリジナル作品の多様さ。東京や宝塚歌劇団でも、韓国ミュージカルを上演する動きが出てきた。（田渕琴、李尚志）

ソウル・大学路で7月に上演していた人気ミュージカル「ザ・フィクション」。拍手が鳴りやまないカーテンコールが始まった。一眼カメラを持ったファンたちがシャッター音を響かせ、会場はK-POPコンサートのような興奮に包まれた。「海外からのファンの姿も多い。コロナが落ち着いて演劇外国ファンが急に増えた。アイドルが来ってかけという方も多いです」。大学路で人気のミュージカル俳優パク・ハングンさんは語る。K-POPアイドルも出演。軍主催で一般向けに上演されるミュージカルに参加することも、それをきっかけに韓国を訪れる外国ファンが急に増えた。アイドルが来ってかけという方も多いです」。大学路で人気のミュージカル俳優パク・ハングンさんは語る。K-POPアイドルも出演。軍主催で一般向けに上演されるミュージカルに参加することも、それをきっかけに韓国を訪れる外国ファンが急に増えた。

日本の会社が日本のキャストで韓国ミュージカルを上演する例も目立つようになった。「これまでにニューヨーク、ロンドンを中心に作品を輸出してきた。そこに、いま韓国が入ってきている家だ」。東宝演劇部で上演する山崎薫専務は話す。

東宝では、2017年にホリプロと制作した「フランケンシュタイン」や、19年の「笑う男」など、大劇場で韓国ミュージカルを上演。12月には、韓国でも年一月に上演された「スートーヴェン」の日本初演を控える。宝塚歌劇団でも今年、「ユニクスカリバー」を上演した。

日本発の韓国のミュージカル作りに参入する動きもある。青山学院大学ミュージカル学会（馬場マーケット）を開場。韓国のミュージカル・エンターテインメントは11月、オリジナルの韓国ミュージカル「イメイ」を公開した。韓国の観客日数は十分。空席だったが、次期にミュージカルファンの間で話題になり、3日からは満席になっている。

韓国からは韓国発表ではっきりと。同社の鄭山ピョン社長は「韓国では日の感覚と観客が厳しく評価するので良いものは評価され、作品の質が上がっていくと語る。

韓国には、大劇場のミュージカルを制作する会社が5社ほどあるはずが、小劇場は大学路だけで200近くあるとされる。活発な市場がユニークな作品を次々と生み出している。

「アルトー、ゴッホ」というユニークな作品に出演した俳優のユスンヒョンさんは「世界を旅する作品が生まれることを夢見ている」。

また、韓国政府は21年から毎年、海外の舞台関係者と制作会社を招いて「Kミュージカル国際マーケット」を開催。韓国の制作会社を紹介している。クリエイティブ・ミュージカルの教育課程も設けているという。

韓国の観客日数は十分。空席だったが、次期にミュージカルファンの間で話題になり、3日からは満席になっている。

持ち込もうとして、韓国ミュージカルファンの観客が広がっているのだという。

テレビドラマでも活躍するミュージカル俳優のユ・ジュンサンさんは、1990年代、日本で「ミス・サイゴン」を観劇した時、当時の韓国にはなかったミュージカルへの熱気に興奮したという。「でもいまは海外との交流が盛んになった。ブロードウェーからのたくさんの方々が来てくれて、舞台が輝いていると感じます」

Facebook でこのミュージカルのことを書いたら、友人が「4 年前にソウル大学路の劇場で見ました。韓国で映画化されました。タイトルは『あなたの初恋探します』」。そうなんだ、映画にもなっているのだ。でも映画より生ミュージカルの方がいいのに決まっている。

男優 2 名（A、B)、女優 1 名（C）が登場する。基本は、A と C が親子。C は早く結婚するように A から言われている。が、以前、インドへ旅行したときの B が忘れられない。が、その連絡先も分からない。その 9 年前のインドの初恋場面と無理やり行かされたソウルの結婚相談所場面が錯綜する。父親 A は他に、インドのあやしい添乗員、日本の空港女性職員、お婿さん候補なども演じる。B もまたダブル、トリプルキャストで、初恋の彼氏、結婚相談所のスタッフなどなど。C も、いろいろ。

休憩なしの 100 分。トイレが心配だったが、あっという間の 100 分だった。

ホテルに帰り、ビールを飲んでインスタントラーメンを食べ、ミュージカルの余韻にひたりながら寝た。

ソウルはこの日から冬。ソウル駅ではオーバーなどを売っていた。

●

翌日からの２日間は、会議など。会議場も大学路の「興士団ビル」。独立運動家・安昌浩さんのもの？だ。

９日は、午前10時から日本大使館あたりで日韓和解と平和プラットフォームの記者会見、11 時、「水曜集会」。水曜集会では、すぐ横で右翼がマイクのボリュームをあげての妨害にはヘキヘキしたが、どういうわけか１時間過ぎると彼ら彼女らはいなくなった。

会議風景、ちゃんと参加しています。水曜集会、日韓和解と平和プラットフォームより２名の発言

ソウル最後の日。どこに行こうか？ まず徳寿宮へ行った。ここはおちついていて好きだ。初めて韓国に来た1978年、ここで苦い経験がある。第1回日韓 URM 協議会で東一紡織労働組合などと交流したが、それが問題とされ、日本側の参加者は金浦空港で足止めされた。翌日帰国の私と土肥隆一さんは、そんなことをつゆ知らず、この徳寿宮見物をしていたのである。夜にそのことを知った。どうなるか、チラシなどをおいていこうなどと相談した。顛末は、むくげ通信にも書いた。

もうひとつ、1980 年代半ば、私が初めてのツアコンで山手学園の先生方を引率して釜山からソウルに着いた。そこで聖公会司祭の柳時京さんが、「みなさん辛い食事だったでしょう。胃休めに？日本ソバはどうですか」と、徳寿宮裏のソバ屋さんに連れて行ってくれた。みんなよろんだ。今回その店をもう一度訪ねようとしたが、分からなかった。閉店してしまったのか。

徳寿宮のふたつの門。いい天気でした。

そして午後２時、「キムジョンウク探し」をもう一度観ることにした。チケットは、大学路の観光案内所で買うことができた。あれ、18,000 ウオン。韓光勲さんはネットで格安のチケット 10,400 ウオンで買ってくれていたのだった。この時間帯でも 40 名ほどのお客。親、祖父母と来ている若い人もいた。2 回目なので日本語はリクエストせず。みんなが笑っているのに笑えない場面が多々あったが、いいだろう。

そして東横イン東大門１にチェックイン。

左、１回目のキャスト、右、２目のキャスト。複数組があるらしい。１日目のＡさんが特にすてきだった

最期の５分間はカメラＯＫでパチリ（２回目）／右、鐘閣駅近くのドラフトビール店。温泉でもらうような「キー」をもらって５０種類のビールを飲める。飲んだ量はそのキーに記憶される。初日探しに行ったがその店を発見できず、最終日に再度捜索して発見。次回、どなたでもご案内できます。

●

ソウルでは、会議の２日間は上等のソウル駅デザイナーズホテル。その前後は、東横イン東大門１に泊まった。その方がだいぶ安い。が、円安のためそこそこの値段になっている。ソウルむくげ合宿でも現地集合はいつも東横イン。今回もソウル在住の村山俊夫さん、韓光勲さん、宮内秋緒さん、そして来年１月来神、むくげの会と交流する「市民モイム（集い）独立」のメンバーと合流して飲みに行った。（その「独立」来訪は別項。）

以上、充実した５日間でした。